

平成23年度田川市立病院経営改善推進委員会

1. 日 時 平成23年7月5日（火）9時50分～12時10分

2. 場 所 田川市立病院 2階講堂

3. 議 題

(1) 中期事業計画（平成22年度～29年度）

①重点方針の目標と評価基準（指標）

②収支計画

(2) 22年度業績評価

①取り組み

②収支計画

(3) 23年度事業計画

①概要

②23年度予算

4. 出席委員

委員（学識経験者）	久保 千春	九州大学病院長
〃	矢野 右人	長崎県病院企業団企業長
〃	佐藤 元治	公認会計士
委員長	齋藤 貴生	田川市病院事業管理者
副委員長	池田 喜彦	田川市立病院 院長
委 員	前田 秀徳	〃 事務局長
〃	下司 恵美子	〃 総看護師長
〃	西原 豊	〃 薬局長

※張委員は公務のため欠席

○オブザーバー

田川市総務部理事兼行政改革推進室長 松村 安洋

5. 外部委員のコメント

●久保委員

市立病院は市民から信頼され、満足される病院というのが、前提にあると思いますが、市からの補填は必要と考えます。また、糖尿病教室などの集団教室を実施すると良いと思います。

職員アンケートの結果を見ますと、今後病院に必要なものとして、急性期医療や地域医

療連携などをあげられています。職員全体で病院に対する意識とモチベーションを培っていくことが大事だと思います。

非常に綿密な計画と思いますが、これを職員の皆さんにいかに浸透させ実施するかが重要です。

●矢野委員

19年度まで医業収益が61億円あったのが、20、21年度と急に悪化しています。その原因を解決しないと、根本的には良くなりません。

内情はわかりませんが、19年度は32名の医師でがんばって61億円の医業収益を上げていますが、その後バーンアウトして出て行かれたのではないのでしょうか。私は医師が3名ずつ増加するというのはシミュレーションとしてあやふやなものを持っていると思います。

私の感想ですが、田川の2次医療の高度医療、先進医療をここが持つという思想を変えないでいくことは、困難だと思います。例えば、2病棟の休床にしているところを療養型に変えるなど今までと違ったミックススタイルに変えるなどの理念を変えないと、この病院は変わらないと思います。医療が変革している中で、長期的に計画を立てることは、無理だと思います。従って、短期的なもので理念を考えながら、この地域に対応していくような基本的な姿勢に戻していくことが大事だと思います。そして、この2年間の背景を解析したうえで、改革が必要だと思います。

●佐藤委員

財務的な観点で話をさせていただきますと、元々過大な投資があり、それに伴う償還金で赤字が続いているということです。医師の増加で収入が増えることはあるかもしれませんが、不満足な医療や成果の得られない事業は、廃止を含めて適正に対処する検討も必要かと思います。それと、一番大事なのは、市立病院として本当に特徴が出せる一番良いものを全面に出して、活性化、再生を目指していただきたいと思います。

6. まとめ

●齋藤委員長

ご指摘のありました点につきましては、真剣に捉えまして今後役立たせていただきたいと思っています。この計画は、常に柔軟に現状に合わせて変えていくというのが基本姿勢であります。当院は田川市民のための病院ですから、田川市民が医療に困らない病院にしてあげるということを基本に置いています。その観点で、例えば、療養型が必要であれば考えないといけないということで、現在、検討を行っています。現在、暗中模索なところなので、また有意義なご意見をいただければと思います。